

行政調査報告書「エネルギー政策特別委員会」

平成 25 年 10 月 22 日(火)～24 日(木)

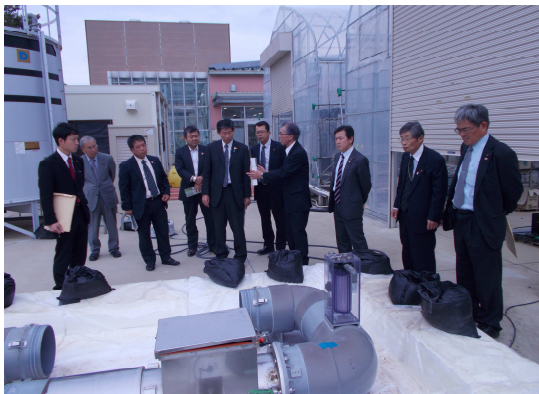
■千葉県柏市「柏の葉スマートシティについて」

柏の葉スマートシティは、「環境共生都市」、「健康長寿都市」、「新産業創造都市」の 3 つの取り組みにより、安心・安全・サステイナブルなスマートシティを実現するため、三井不動産株式会社の民間開発を主体として、柏市、千葉県、東京大学、千葉大学の公・民・学が連携して取り組んでいる。全体構想では、再生可能エネルギーの効率活用、ライフスタイルの低炭素化、次世代交通システムの確立、事業化について、3 段階に分けて実現を目指している。



規模が大きいため、本市にそのまま当てはめることは難しいが、まちづくりの考え方や公・民・学の連携による取り組みや、すでに実現している電気自動車、電動バイク・自転車によるマルチ交通シェアリングは、大変参考になった。

■筑波大学「藻類バイオマスエネルギーの実用化について」



藻類バイオ燃料は、生産効率が高く、石油代替燃料として次世代エネルギーとして期待が大きい。藻類バイオマスの実用化に向けては、平成 24 年度から耕作放棄地を活用した屋外大量培養、自動車運用実証試験等により、技術的課題を解決し、平成 27 年度からはオイル生産の大規模実証のほか、健康食品、医療品等の高付加価値な藻類産業の展開が期待されている。

実用化には、生産コストや農地法の規制などの課題はあるが、近い将来期待が持てる新エネルギーの一つとして、本市でも活用できるのではないかと考える。

■国土交通省「低炭素まちづくり計画について」

東日本大震災を契機とするエネルギー需給の変化や国民のエネルギー・地球温暖化に関する意識の高揚等を踏まえ、平成 24 年 12 月に都市の低炭素化の促進に関する法律（略称：エコまち法）が施行された。

全国的に、中心市街地の空洞化、公共交通の衰退、少子化による人口減少、超高齢化の進展への対応などが、まちづくりの大きな課題となっており、コンパクトシティ、スマートシティへの取り組みが急務となっている。

今回のエコまち法は、地域の事情を考慮できる部分が多く、まちづくりの計画を地域の視点から考えて申請しやすくなっている。本市においても、総合的・計画的に都市の低炭素化を促進する取り組みが必要であり、制度の研究をし、早期に活用すべきと考える。